

自由論題 1「中国の政治」・報告 2

報告テーマ

習近平の「監察」と人民解放軍への影響
“Xi Jinping’s Inspection and Impact on the People Liberation Army”

氏名(所属)

相田 守輝 (筑波大学・院)

要旨(800字程度)

本報告では、習近平の「監察」強化による人民解放軍(PLA)高級幹部の摘発事例を分析することで、中国共産党がどのような影響を PLA に及ぼしたのかを検討する。

中国の反腐敗闘争を扱う先行研究では、腐敗が蔓延する権力社会構造や共産党中央政府のジレンマといった分析が大半を占めているが、近年では中央紀律検査委員会による「監察」の強化が議論されはじめている。「監察」の強化を「法治中国」の進展とみなすこれらの研究は、国内のあらゆる既得権益を打破する習の政治改革として想定しているが、PLA に与える影響との関連についてあまり議論されていない。

しかし、現実の中国では、毛沢東の時代から腐敗が政治課題とされ、「監察」によって腐敗を撲滅しようとする試みが続けられてきており、PLA も例外ではなかった。そこで本報告は、「監察」の強化によって摘発された PLA 高級幹部を分析することで、先行研究では問われてこなかった、PLA への影響について明らかにする。

本報告では、党中央紀律委員会による「監察」を視角として、中国の党軍関係研究に踏み込む試みでもある。

報告では、第1に、習近平による「監察」強化が、中国国内でどのように機能しているのかを整理する。第2に、PLA 高級幹部をめぐる腐敗の大まかな傾向を捉えるために、「監察法」が制定された 2018 年までの 10 年間における関連文献や報道などを分析する。これにより汚職に手を染めたとされる PLA 高級幹部が、どのように処分されたのか典型的なパターンとその後の人事等について抽出する。第3に、PLA をめぐる反腐敗闘争と、習近平の軍改革との関連を考察する。これらを踏まえ、第4に、「監察」強化による PLA への影響が持つ含意を議論する。